

日本語文法学会 第22回大会プログラム

日時:2021年12月11日(土)・12日(日)オンライン開催

11/1版

■2021年12月11日(土)午前・午後[Zoom]

研究発表	開始	終了	A会場	B会場	
午前 前半			司会:阿部二郎(田村早苗) ホスト:大田垣仁(北崎勇帆)	司会:佐々木冠(小西いずみ) ホスト:酒井雅史(清田朗裕)	
			1	9:30	10:10
	2	10:15	10:55	松本理美(大阪樟蔭女子大学非常勤講師)・有田節子(立命館大学) 国語教科書における条件・譲歩表現の使用実態 —年少者に対する日本語教育の基礎資料—	趙金昌(筑波大学大学院生) 自他対応の移動動詞と場所名詞句との格結合頻度について
	午前 後半			司会:田村早苗(阿部二郎) ホスト:北崎勇帆(大田垣仁)	司会:小西いずみ(佐々木冠) ホスト:清田朗裕(酒井雅史)
3				11:00	11:40
4		11:45	12:25	帖佐幸樹(福山大学非常勤講師) トコロダ文はどのような発話か —トコロダ文における「強調」の正体を探る—	松岡みゆき(愛知文教大学) 長音化した単音節語「まあ」に内在する意味について
	12:25	13:25	昼食休憩		
午後 前半			司会:大木一夫(岡部嘉幸) ホスト:野間純平(川島拓馬)	司会:上山あゆみ(宮地朝子) ホスト:未定(未定)	
			5	13:25	14:05
	6	14:10	14:50	小葉哲哉(大阪大学) V方ヲスル構文における解釈の二重性 —構文文法的アプローチ—	宮田瑞穂(東京大学大学院生) 日本語の副詞モウと否定の階層関係 —モウ、モウスグとスグ—
	7	14:55	15:35	三好伸芳(実践女子大学) 措定文の述語に現れる固有名詞の意味的性質	周世超(重慶大学) 「せっかく」の構文的条件について
	15:35	15:50	休憩		
午後 後半			司会:岡部嘉幸(大木一夫) ホスト:野間純平(川島拓馬)	司会:宮地朝子(上山あゆみ) ホスト:未定(未定)	
			8	15:50	16:30
	9	16:35	17:15	井上直美(埼玉大学大学院生) 「～てのける」の意味・機能について	高谷由貴(神戸市外国語大学) 接続表現ではない文頭の「ト」は何をしているか —引用との比較—
	10	17:20	18:00	【招待】森勇太(関西大学) 近世後期洒落本に見る丁寧語の運用とその地域差 —上方と江戸の対照—	榎原実香(東京工業大学) 談話をまとめあげる談話末のモ
大会 式典	11	18:10	18:20	大会式典(※オンラインで実施)	
懇親 会	12	18:20	19:30	懇親会(※オンラインで実施)	

■2021年12月12日(日)午前・午後[Zoom]

		開始	終了	A会場	B会場
13				ホスト:北崎勇帆(丸山岳彦)	ホスト:清田朗裕(野間純平)
	9:00	10:40		【パネルセッション1】 「する」構文の核と周縁 司会 臼杵岳(京都産業大学) 発表1 臼杵岳(京都産業大学) 擬態語動詞の再考 発表2 田川拓海(筑波大学) 動詞化要素としての「する」と「る」 発表3 岸本秀樹(神戸大学) 「青い目をしている」構文の意味と統語構造について	【チュートリアル】 「中納言」を活用した 一歩進んだコーパスデータ分析 講師:中俣尚己(京都教育大学) 9:00-10:20 動画配信 10:20-10:40 質疑応答
14				ホスト:北崎勇帆(丸山岳彦)	ホスト:清田朗裕(野間純平)
	10:45	12:25		【パネルセッション2】 とりたて助詞における評価的態度の再検討 司会 井戸美里(国立国語研究所) 発表1 茂木俊伸(熊本大学) とりたて助詞の意味と呼応の問題 発表2 井戸美里(国立国語研究所) 評価的なとりたて助詞ナンカにおける談話的制約と 統語的制約 発表3 大江元貴(金沢大学) 評価的なトカのとりたて助詞「らしくなさ」	【チュートリアル】(動画再配信) 「中納言」を活用した 一歩進んだコーパスデータ分析 講師:中俣尚己(京都教育大学) 10:45-12:05 動画再配信 ※質疑応答はありません
	12:25	13:05		昼食休憩	
					司会:建石始 ホスト:齊藤美穂(川島拓馬)
午後	15	13:05	13:25		会員総会
	16	13:30	16:30	司会:阿部二郎(田村早苗) ホスト:大田垣仁・酒井雅史 【第22回シンポジウム】 (言語系学会連合共催・無料公開) 年少者日本語教育と日本語文法研究 講師1:佐藤郡衛(明治大学) 外国人の子どもの教育で「日本語」はどのように 位置づけられてきたか 講師2:小林聡子(千葉大学) やりとりからみる学校教育の構造 —「日本語」による不可視化— 講師3:菅原雅枝(愛知教育大学) 日本語指導の現場から —「学習者の多様性×指導者の多様性」が生む課題—	
予備	17	16:50	17:30	予備1	予備2
	18	17:35	18:15	予備3	予備4